

それでも日本人は「戦争」を選ぶのか？

2015年はアジア太平洋戦争終結から70年を数える。現在私たちは、特定秘密保護法が成立し、集団的自衛権が閣議決定され、憲法9条改正への動きが暗々裏に進む時代を迎えている。70年前の戦争の記憶が風化されつつある今、日本は再び「戦争」の道を選ぶしかないのだろうか。この70年の間、日本人は「戦争」と「平和」をどう考えてきたのだろうか。今、戦後日本の戦争責任問題に長い間向きあってきた二人の研究者を招き、戦争の記憶と平和のあり方について考えてみたい。

日時 | 2015年5月30日(土)

午後2時00分～4時00分(開場午後1時30分)

場所 | 恵泉女学園大学多摩キャンパス・J202号室

参加費 | 無料

(東京大学教授) 加藤陽子 講師 内海愛子 (恵泉女学園大学名誉教授)

1960年生まれ
東京大学教授。日本近代史専攻。
主な著書：『徴兵制と近代日本—1868—1945』(吉川弘文館、1996年)、『戦争を読む』(勁草書房、2007年)、『満州事変から日中戦争へ』(岩波新書、2007年)、『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』(朝日出版社、2009年)、『昭和天皇と戦争の世紀』(講談社、2011年)など多数。



1941年生まれ
恵泉女学園大学名誉教授、大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター所長。主な著書：『朝鮮人BC級戦犯の記録』(勁草書房、1982年)、『戦後補償から考える日本とアジア』(山川出版社、2002年)、『スガモプリズン—戦犯たちの平和運動』(吉川弘文館、2004年)、『キムはなぜ裁かれたのか—朝鮮人BC級戦犯の軌跡』(朝日新聞出版、2008年)など多数。

司会
上村英明

(恵泉女学園大学教授・平和文化研究所長)

問い合わせ先

恵泉女学園大学 平和文化研究所 〒206-8586 東京都多摩市南野 2-10-1
Tel 042-376-8332

主催 | 恵泉女学園大学平和文化研究所

恵泉女学園大学アクセス 駅から大学までは、スクールバスまたは路線バスをご利用下さい。

小田急・京王・多摩都市モノレール「多摩センター駅」下車

■路線バス案内

- 多摩センター駅バス乗り場 8番
(多01、多03、多04、桜46、永65)
恵泉女学園大学入口下車、徒歩4～5分
(桜25、永14)
京王多摩車庫前下車、徒歩10分
- 多摩市ミニバス東西線(永52、永53)
豊ヶ丘5丁目バス停下車、徒歩9分
- 鶴川駅バス乗り場 5番(多04)
恵泉女学園大学入口下車

■スクールバス御案内

当日は多摩センターから無料スクールバスを10分間隔でピストン運行しております(9～17時)。所要時間は約10分です。

■スクールバス乗場御案内

京王プラザホテルの直前の階段を下る。右の地図をご参照ください。

